青年実業家

内田魯庵

青空文庫

「全でお咄にならんサ。外債募集だの鉄道国有だのと一つの問題を五年も六年も担ぎ廻る先生の揃つてる経済界だもの。近ごろ君、経済書の売行が好いさうだが、何の事は無い、盗賊を見て縄を綯ふやうなもんだ。戦争以来実業が勃興したといふのが間違つてる。何が勃興してゐるもんか、更に進歩しないと云つても宜しい、畢竟空株の空相場が到る処に行はれたので一時に事業が起つたやうに見えたが、本と〳〵が空腹に酒を飲んだやうなものでグデン〳〵に騒ぎ立つた挙句が嘔吐を吐いて了うとヘタ〳〵に弱つて医者の厄介になると同様だ。我々の会社を見給へ、重役様がボーナスを少とでも余計握まうといふ外には何の考も無い。元来実業界の先輩と威張つてる奴らは昔からの素町人か、成上りの大山師か、濡手で粟の御用商人か、役人の古手の天下つたのか、斯ういふ連中のお揃ひだから真の文明流のビジ子スを知つてる者は無い。投機や株の売買も商売の一つだから行つても宜いが、最う些と道徳を重んじて呉れないと困る、昔から云つてる事つてすが日本人は公共思想が乏しくて商売をしても他を倒すことばかり考へて商売其物を発達せしめやうといふ考へは無い。同商売の者は成るべくトラスト流に合同して大資本を作つて大きな商売をして貰ひたいのだが、日本人同志の間では小な利慾心が邪魔をするから迚も相談が纏まらない。現に僕が関係してゐる会社では三四の同業者があるから合同して大きな工場を建てたら如何だといふ意見を持出した処が、此方の会社が十分優勢を占めてるのに以ての外だと排斥されて了つた。亜米利加では大資本家が小資本家を吸収して利益を壟断すると云つてトラストの幣を頻りに論じてるが日本では先づ当分トラストが行はれるほど進歩しない。一緒に大きく儲けやうとはしないで他人に儲けられまい儲けられまいとケチ〳〵してゐる。裏店根性だ……

「併し頭の禿げた連中は仕方が無いとして若い者は奈何かと云ふと、矢張駄目だ。血気盛んな奴が懐中手をして濡手で粟の工風ばかりする老人連の真似をしたがる。実業家といふと聞えが好いが近頃の奴は羽織ゴロの方に近い。立派な新教育を受けた若い連中までが斯様な怪しからない所為をしたがるから困る。例へば商業学校、あれが少しも役に立ちませんナ。元来ビジ子スは実地に経験を積んで然る後覚えられるもんで、学校の教場で教師の講義を聞いたつて解るもんぢやアない。銀行の取引実務とか手形交換の実習とか云ふものなら昔しの商法講習所位のものを置けば沢山だ。経済学や法律学なら大学で、教へてゐる、私立の専門学校もある。実際また商業学校で教へる位の片端を噛つたつて何の役に立つもんですか、無駄な事つた。此金の足りない中で、殊に経費少ない文部省が這般な無用の学校に銭を棄てるのは馬鹿げてる。第一貴処、困る事には此役に立たない商業学校の卒業生が学校を出れば一廉な商業家になつた気でゐる、高等商業学校を初めとして全国に商業学校が各府県に一つ宛ある、毎年卒業生が千人も出るでせう。百人に一人位真摯なものもあるかも知れないが、大抵は卒業すると直ぐ気障な扮装をして新聞受売の経済論や株屋の口吻をしたがる。先輩の対手にならないのは仕方が無いが後継者の若い者までが株屋や御用商人の真似をしたがるから困る。其証拠には貴下、斯ういふ学校出身者で細くとも自分で事業を初めた人がありますか。多い中には有るかも知れないが、先づ学校を出ると会社とか銀行とかへ入つて端多月給でも貰つて気楽に飯の喰へる工風をする。校長初め教師までが其方を奨励する。

実業家達は小才の利く調法な男を廉く傭使へるのだから徳用向きの仕入物を買倒す気で居る。然るに高い学費を何年も費ひ込んだ商業学者先生達は会社か銀行の帳付にでもなると直ぐ実業家を気取つて、極愚劣な奴は安芸妓に陥り込んで無けなしの金を入上げる、些と生意気な奴は書卓附属の器械であるのを忘れて一知半解の金融論をする、少しばかりのボーナスを貰うと炭鉱とか日鉄とか直ぐ手を出したがる、事業其物に忠実なものは殆ど無い——

「カラキシ何も彼もお咄になりませんや。我々のやうに少と理窟でも捻らうといふ奴は継子扱ひされてテンで相手にされないのだから仕様が無いのサ。金を儲けるといふが何も難かしい事は無い。正実な道を踏んで立派に金儲けが出来る。何ツ——教へて呉れ？　教へてやらんでもない、正直に真面目に金の儲かる道はいくらもある。其内ユツクリ話して聞かせやう。今の実業家連中は情ない哉２２が４といふ事を御存じない。２２が６と算盤を弾き出すから景気が好さゝうに見えても実は初めから失敗しておるンだ。何だ——解らないと。矢張君も２２が６の連中だらう——はツはツはツ」と故と磊落らしく笑ひながら口の裡にて、（実は自分にも解らない！）

青空文庫情報

底本：「日本の名随筆75　商」作品社
　　1989（平成元）年1月25日第1刷発行
底本の親本：「社会百面相　上巻」岩波文庫、岩波書店
　　1953（昭和28）年2月
入力：土屋隆
校正：noriko saito
2006年10月17日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

青年実業家

内田魯庵

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/